

# 山梨県がん検診成果向上支援事業

山梨県 健康増進課がん対策推進担当

# 山梨県がん検診成果向上支援事業について

## 【 対策 】

### 1 精検受診率を向上する対策

対象機関	事業名	事業内容
全機関	① 精度管理システム構築事業	国指針に基づく精度管理の仕組みを構築

### 2 検診の質を向上する対策

対象機関	事業名	事業内容
市町村	② 市町村がん検診精度管理支援事業	課題解決に取り組む市町村に対して集中的支援
市町村・検診機関	③ 検診機関チェックリスト活用	検診機関に対する事業評価の実施

### 3 市町村が実施する事業評価を支援する対策

対象機関	事業名	事業内容
市町村	④ 市町村がん検診精度管理カルテ	市町村ごとのチェックリスト実施率やプロセス指標を提供

# 1 精検受診率を向上する対策について

## ① 精度管理システム構築事業（胃・大腸がん検診の統一運用の仕組みづくり）

### 【現状と課題】

- 全国的に大腸がんの精検受診率の数値が低調、国指針においては特に対策が必要と定義。
- 本県においては、特に胃がん内視鏡と大腸がんの精検受診率が低く、未把握率が高い。  
(子宮頸部がんは令和3年度より統一運用を開始)
- 市町村の未把握の理由は、精検対象者、精検医療機関から情報が得られないため。
- 市町村チェックリストのうち、要精検者への精検受診が可能な医療機関一覧の提示等の実施率が低調。

〈平成29年度精検未把握率の山梨県と全国の比較、精検受診状況を調査してもなお未把握者が存在する理由〉

	胃X線		胃内視鏡		大腸		肺		乳		子宮頸部	
	集団	個別	集団	個別	集団	個別	集団	個別	集団	個別	集団	個別
精検未把握率 山梨 (%)	9.5	34.4	16.8	7.8	6.1	27.0	9.5	34.4	16.8	7.8	6.1	27.0
精検未把握率 全国 (%)	11.0	6.3	16.9	10.6	8.2	18.1	11.0	6.3	16.9	10.6	8.2	18.1
精検対象者と連絡がとれない(市町村数)	23	12	6	11	23	13	23	13	23	15	7	21
精検医療機関から情報が得られない(市町村数)	12	8	4	7	12	8	12	8	11	8	4	12
未把握者は存在しない(市町村数)	2	0	2	0	2	0	2	0	2	0	2	1
その他(市町村数)	1	1	0	1	1	1	1	1	1	1	0	1

出典：平成31年度地域保健・健康増進事業報告（厚生労働省）、令和3年度山梨県市町村がん検診の実態調査（県健康増進課）複数回答可

- ⇒ 市町村が精検結果を把握できず、適切な精検受診勧奨がされていないおそれ。
- ⇒ 要精検者が受診する医療機関が一覧化されておらず、受診アクセスが確保されていないおそれ。

### 【対策】

- 胃がん・大腸がん検診において、国指針に基づく精度管理を可能とする仕組みを構築。
- 精密検査医療機関を登録制とし、市町村・検診機関への精検結果報告のルートを確立。
  - ・市町村が精検医療機関による報告で受診状況を把握し、精検未把握率の改善と精検受診勧奨の増加。
  - ・検診機関が要精検者に「見える化」した精検医療機関一覧を提示し、受診アクセスを改善。

市町村・検診機関が精検受診対策を徹底することにより精検受診率の改善を目指す。

# 2 検診の質を向上する対策について

## ② 市町村がん検診精度管理支援事業

- 各市町村特有の課題に対して、原因究明と対策立案を集中的に支援。
- 専門的見地を持つアドバイザーは、マーケティングの専門家や国立がん研究センター医師等。
- 支援実績
  - ・ 令和3年度 富士吉田市、南アルプス市
  - ・ 令和4年度 都留市
  - ・ 令和5年度 山梨市、大月市、甲州市

### 〈県が用意する情報例〉

- ・ 当該市町村のプロセス指標、チェックリスト実施状況
- ・ がん登録情報

### 〈市町村が用意する情報例〉

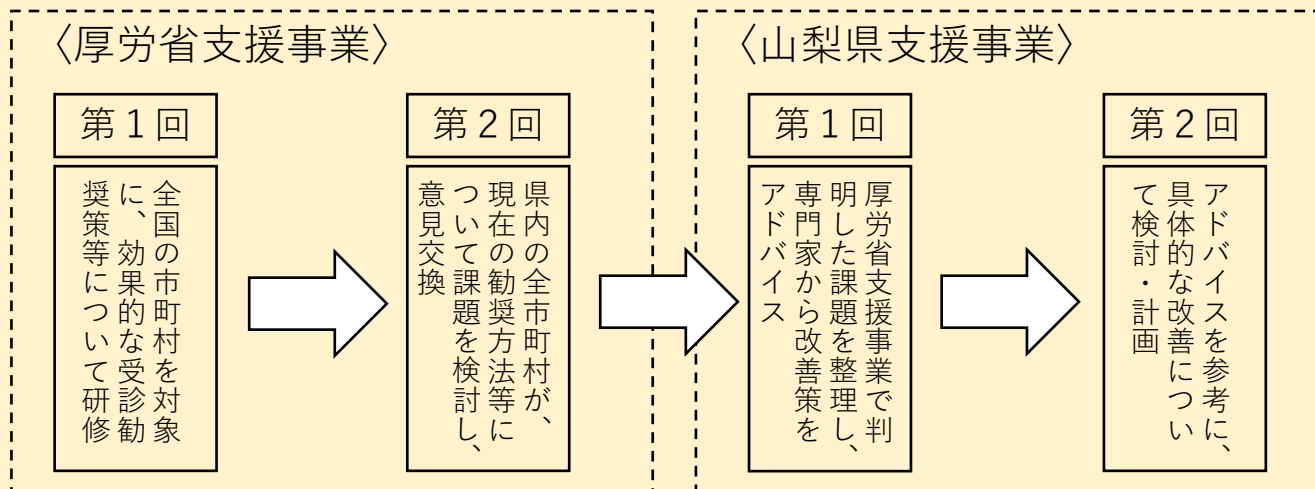
- ・ 検診台帳管理状況
- ・ 検診仕様書の内容
- ・ 受診勧奨、結果把握、精検受診勧奨等の手法
- ・ 地域保健・健康増進事業報告の手法

### アドバイザーによる 原因究明と具体的対策について

#### 【立案に期待するもの】

- ・ 市町村の特性に合致
- ・ ナッジ理論等による効果的、効率的な手法

- 令和5年度は、厚生労働省が開催する「がん検診の受診勧奨策等実行支援事業」と連動した支援事業を実施。



## 2 検診の質を向上する対策について

### ③ 検診機関チェックリストの活用

- 本県における市町村チェックリスト実施率は全国でも下位レベル。
- 一因としては、各市町村における検診機関(医療機関)の質の担保が不十分であるため。
- 令和3年度から検診機関チェックリストの実施方法を次のように見直し。
  - ・県は、複数の市町村が委託する検診機関に対してチェックリスト調査
  - ・市町村に対して、県調査外である個々の市町村のみが契約する検診機関を調査するよう依頼
- 結果については、資料4のとおり。
- チェックリストの結果は、ホームページに公開するとともに、市町村及び検診機関に対し、各部会助言方針とともに送付する予定。

## 3 市町村が実施する事業評価を支援する対策について

### ④ 市町村がん検診精度管理カルテの活用

- 令和3年度から、県が市町村ごとにチェックリスト実施率やプロセス指標をまとめたカルテを作成。
- 本県における市町村チェックリスト実施率は全国でも下位レベル。
  - 令和5年度は、特に改善が必要なチェック項目について、各市町村の現状と改善計画の調査を行うことで、市町村の改善を促し、実施率の向上を図る
- 個々の市町村に対して、各部会の助言方針とともに送付する予定。